

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ戸塚園	種別：認可保育所
代表者氏名：及川義明	定員（利用人数）：60名 （利用者:64名）
所在地：〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町6003-3 レッグヒルズ2F3F	
TEL：045-862-1001	ホームページ： <a href="https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_029.html">https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_029.html</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2012年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 グローバルキッズ	
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員 7名
専門職員	施設長 1名 主任 1名
	保育士 18名 調理士 4名
施設・設備 の概要	保育室 5室 トイレ 4ヶ所
	調理室 1ヶ所 事務室 1室
	園庭 無

③ 理念・基本方針

【保育理念】 豊かに生きる力を育てる
【保育目標】 笑顔で楽しく元気いっぱい明るい子 いろいろなことに挑戦できる子 人にもモノにも思いやりをもつ子 自己肯定感を持てる子
【保育方針】 保育方針保育者も笑顔で一緒に楽しむ 子どもたちのやりたいことを引き出せる環境を作り、経験の場をつくっていく 子どもたちの思いを認める 子どもの思いに耳を傾け肯定的な言葉掛けをする 一人ひとりを大切に愛情を注ぐ

④ 施設・事業所の特徴的な取組

・ 乳児クラスの担当制保育 ☆0歳児クラスは特に1対1の関わりを大切にし食事・排泄・身支度の部分で愛着関係を築けるようにしています。1・2歳児になると徐々に自分でできることも増えてくるため一人ひとりの成長に合わせて援助をしたり見守ったりしながら保育を行っています。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・幼児クラス中心とした課業

①英語リトミック（3・4・5歳児）

☆講師の先生が月に1回各クラス30分の中で曲に合わせて身体を動かしたり、月の歌を歌ったりその月の課題にチャレンジしたりしています。英語を真似して言うことを楽しみながら他の友だちの前での発表なども行っています。

②ダンス（3・4・5歳児）

☆3歳児は月1回、4・5歳児は月2回地域のダンススクールから講師の先生が来てダンスレッスンを行っています。ストレッチから始まり、ブリッジや壁倒立などにもチャレンジしています。講師の先生と関わることが大好きで、ダンスの日を楽しみに過ごしています。年に5～6曲のダンスを覚え運動会や発表会で保護者の方に披露をしています。

・駅前保育園の為、晴れた日は戸外活動が中心とした保育の展開

☆0・1歳児クラスはバギーを使って近くの公園に散歩に出ています。0歳児は園庭でのんびりと過ごす日もあり、外の空気に触れ過ごしています。1・2歳児は歩くことも増え友だちと手を繋いで歩くことを楽しんでいます。

・地域子育て支援事業

☆月に2回第二・四金曜日に一時間園庭開放をしています。事前に電話予約をしております。行事へのお誘いなども行っています。園庭や室内遊びを中心に在園児と共に遊んだりしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月23日（契約日）～ 令和5年4月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2019年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 地域交流を兼ねた定期レッスンに取り組んでいます

3～5歳児クラスでは、地域のダンススクールから講師を招いて、定期的なダンスレッスンを行っています。子ども達にとっては保育者以外の大人との関わりが持てる機会であると共に、地域交流の一環にもなっています。1年を通して沢山のダンスが踊れるようになることを目指して取り組んでいます。覚えたダンスは運動会や発表会で披露し、日頃の取組の成果を保護者へ伝えていきます。子ども達はダンスレッスンを通して、目標を持って取り組むこと、練習することの大切さなどを学んでおり、ダンスレッスンは子ども達の成長を後押ししています。

2) 地域と保育園との積極的な交流活動

園庭開放や行事を通じて積極的な地域交流を行っています。夏祭りでは、魚の解体ショーを実施するなど企画性のある取組を通じて園の雰囲気や情報を伝えると共に、地域の方の身近な存在としての役割を担っています。散歩の際は地元の商店や地域住民の方へ挨拶を交わすなど日常的な交流やイベントなど定期的な交流を図っています。コロナ禍であっても相談事業を行い、行事にも地域の方の参加を呼びかけるなど、地域との関りを大切にしたい運営を行っています。

3) デイリーボードの活用により業務効率を上げています

園では、その日、その時の状況に応じた職員配置がスムーズに行えるように、デイリ

ーボードを活用しています。園長が提案したデイリーボードは、いつ、どのクラスを、どの保育士が担当しているかが一目でわかるように工夫されています。ボードを用いたことで、今、どのクラスに職員が必要かなどがすぐに分かり、保育士が自主的に動きやすい環境となっています。指示を受けるだけでなく、職員の自主的な考えや行動を尊重しながら、業務の効率を向上させています。

4)運営者・保育者・保護者のコミュニケーション機会の確保が期待されます  
園長は保育に対して情熱と信念を持っており、職員も同様に自分の経験等から保育についてのあるべき姿に考えを持っています。保護者もこれまでの状況を踏まえて園活動についてイメージを持っています。現在それぞれの思いが交錯し、相互理解が図れていない状況が見受けられます。年度が変わり、前年と変更になった点や新たな取組等については、その目的やねらいについて保護者に説明することが必要です。また、組織として相互理解を図るためのコミュニケーションや説明の機会を持ち、めざす方向性の理解・共有を図ることが望まれます。

5)運営面を見直し有意義な経費配分の検討が期待されます  
運営に係る経費の使用状況を職員と共有しています。現状では、経費の使用状況に偏りが見られる部分があります。子どもの生活に直接関係する備品の不足には早急な対応が望まれます。優先順位等を再検討し、園として総合的に見ての有意義な経費配分を関係者（法人、職員、保護者）全員で検討していくことが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価のご対応ありがとうございました。今回の結果を受けて、気づけない部分もありましたので結果を真摯に受け止めて今後の園運営に活かしてまいります。今後も子どもたちのことを一番に考え、園運営をしてまいります。今後とも宜しくお願い致します。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり